

3月の風に想いをのせ 新たな世界へ旅立つ卒業生192名 第61回卒業証書授与式

門出の言葉

卒業生代表 石山 駿
(米沢二中出身)



思い返せば、体育祭や文化祭、大学施設見学会など楽しかった思い出が昨日のことのように感じられます。そんな楽しかった時間もあつという間に過ぎ去りました。三年生となり受験という大きな試験に立ち向かうという中で、私たちはたくさんの方の助けを借りてここまで来ました。先生方はどんな質問にも理解するまで丁寧に教えて下さり、進路の相談をすると、まるで自分のことのように一緒に考えて下さいました。周りの仲間も自分の勉強で忙しいはずなのに、わからないところを丁寧に教えてくれたり、勉強のアドバイスをくれたりしました。後輩たちも

様々な場面で私たちを応援してくれ、大きな励みとなりました。そして家族は、思うように勉強が進まず悩んだときも、部活動との両立でたくさんになつて帰ってきたときも、常に温かい目で私たちを見守り、励まし、支えてくれました。こうして振り返ってみると、私たちはこの進路達成という次の道を、決して一人で乗り越えてきたのではないことをひしひしと感じます。私たちの周りには、常に励まし、支えてくれる人がいました。

「ありがとう」というたった一言だけでは、到底感謝の気持ちを表現することはできないでしょう。しかしやはり、申し上げずにはおれません。本当にありがとうございました。

ここで過ごした三年間という時間は、私たちにとってかけがえない宝となるものです。思い出のたくさん詰まったこの校舎を離れ、深い絆で結ばれた仲間と別れることは寂しいことです。しかし、私たちは今、自分の夢に向けての一步を踏み出すこととします。ここから私たち一人一人の物語の新たな始まりでもあります。無限の可能性を信じ、期待も不安もすべて、翼を羽ばたかせる力に変えて私たちは飛び立ちます。



最後に興譲館高校の益々のご発展と諸先生方、生徒の皆さんのご健勝をお祈り申し上げます。

さて、新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。歴史と伝統のある名門興譲館高校で、優秀な先生方の御指導を受けながら、各々の目標に向かって勉強できる機会に恵まれたことを誇りに思つて、三年間勉強やスポーツに励んで下さい。

最後に興譲館高校の益々のご発展と諸先生方、生徒の皆さんのご健勝をお祈り申し上げます。

思い起こせば、自分が興譲館高校で過ごした三年間は、受験勉強に明け暮れる日々で、とても楽しかったとは言えませんでした。が、今の子供達を見ると、部活動も勉強もとても楽しんでやっており、毎日学校に行くのが楽しくて仕方がないように見受けられました。確かに課題も多く、勉強そのものもとても大変だったと思います。しかし、それを負担だと思わず、むしろ喜んで学校に行く姿を見ると、いかに先生方が熱意を持って生徒達を御指導いただいたかが分かります。受験に関しても、各人の志望に合わせて懇切丁寧なアドバイスをいただいたき、目標達成できた時はまるで我が子のように喜んで下さいました。そんな先生方の熱心さが、子供達にも伝わり、やる気を起こさせてくれたと思います。先生方には本当に心より感謝申し上げます。

興譲館だより

Yonezawa Kojokan High School

平成21年3月31日発行
第14号
山形県立
米沢興譲館高等学校

〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531

<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

興譲館高校生徒で あることを誇りに

卒業生保護者 石山 清司

興譲館高校では三年間子供達がお世話になり、誠にありがとうございました。
子供から大人への大事な過渡期の三年間を興譲館高校で学ぶことの意義は大変大きいと思います。潘校からの歴史と伝統のある興譲館高校で、文武両道の精神に則り、勉強や部活動に励み、各人の目標に向かって切磋琢磨しながら、互いの友情を育む三年間は、長い人生の中でもとても貴重な時間だと思っています。

未来の科学者達による学会

理数科課題研究発表会

昭和四十三年、本校理数科が設置された当初から実施されてきた「課題研究」は、科学的探究心を培い、「科学する心」を育む。今年の発表会はどうようなものだったのだろうか。生徒の言葉から感じ取りたい。

流れ星の研究

二年 杉本 勇貴
(米沢三中出身)

今回の課題研究で、私達の地学班では、地球に日々無数に降り注ぐ流星についての研究を行いました。

私達の研究では、主に電波観測と呼ばれる方法を使って、日本列島の上空を飛び交う膨大な数の流星を観測しました。その結果を辛抱強くすべてパソコンに入力し、データ化して見えてきたのは日本上空だけでもひと月に三万個以上の流星が降り注いでいる事、流星の多い時間帯、少ない時間帯がはっきりしている事でした。このときの達成感はとても大きく、まるで国際的な宇宙調査に関わったかのような感覚でした。

最後に、この課題研究を通して、研究者としての自分をさらに磨くことができたと感じています。



堂々としたプレゼンテーション



最優秀賞受賞「宇宙チンを探せ!」

積極的地域活性化貢献活動

第32回上杉雪灯籠まつり



創作雪像コンテストにて優秀賞受賞



作品タイトル
「いざ田陣!!!」

創作雪像に応募したのはよいが、何を作るかは全く未定だった。そこで全校生にアンケートをとり、生徒自治会執行部で検討した結果、今年から放映されている「天地人」ブームにあやかり、米沢の観光マスコット「かねたん」がいいのではないかと話し合いとなり、案が固まった。

経験者の不足や今年の暖冬などの影響で作業は難航した。また、土台となるトーフ作りが甘かったこともあり、空洞が所々に出来てしまうというトラブルもあった。

また、制作において一つの難題があった。それはシンボルとなる「愛」の文字である。何とか雪で作れないかと知恵を絞ったが、結局は妥協してプラスチック板で作ることとなった。

完成した雪像の想像以上の出来に素晴らしい達成感を味わえた。

苦勞の末の達成感

生徒自治会執行部 二年 大峽 和紀
(米沢四中出身)

3学年担任団による激励歌



生徒自治会執行部 一年 佐野 弘明
(米沢四中出身)

今年も、三年生の皆さんに向けて、卒業に先立つて行う送別行事である予餞会を開催しました。

主な内容としては、生徒も教職員も含めた有志による激励や一年生の千羽鶴贈呈、二年生はクラス毎の激励出し物、応援団によるエール、転任された先生方からの応援VTR放映、各部活動による応援メッセージを書いた二次試験までの日めくりカレンダー贈呈というように応援激励は多岐にわたりました。特に、今年のフィナーレを飾った担任団による3年間の写真ムービーを背景にした熱唱では、三年生だけではなく、私達在校生の心にも強く響きました。

この行事で、センター試験直後の三年生の先輩の気持ちを少しでも癒すことができたのであれば、予餞会は大成功です。



予



餞



会

吹奏楽研究クラブによる激励演奏&ダンス



毎年恒例スキー授業



人生初めてのスキー

二年 渡辺 愛子 (横浜市立岡津中出身)

生まれてからこれまで「スキー」は全くしたことがないスポーツだったので、期待と戸惑いがありました。

一回目のスキー授業ではみんなが滑っているのを目の当たりにして、私もみんなのように滑ってやるぞーと意気込みました。

しかし、実際滑ってみると、思ったとおりに曲がれなかったり、つまづいて転んでしまったりしてとても大変でした。

山口教頭先生や他の先生方の熱心な指導もあって、回数を重ねるごとになんとか自力で坂の上から滑れるようになりました。本当に嬉しかったです。

またいつか、機会があればスキーをしたいと思っています。

先輩からのメッセージ

message to you



古内 哲兵
野球部
米沢四中出身

山形大学農学部生物生産学科

受験に必要なと思うものを二つ。一つは精神力、もう一つは自信です。これらを身に付けるには、何事にも全力で挑み、努力するしかないと思います。すが、素晴らしい環境である興譲館で生活すれば自然と養われると思います。

自分でこれだと思ったなら、きっとそれなんだと思うし、それが厳しい道なら力づくでも自分のものにすればいいんだと思います。自分の意志で決めたことなら、成し遂げられます。先生の言っていることがどれだけ本当か、仲間や家族がどれだけ支えてくれるのかわかる日ができるだけ早く訪れ、信頼し、大好きになれるといいなと思います。



後藤 智美
吹奏楽研究クラブ
米沢二中出身

京都大学医学部
人間健康科学科看護学専攻



神田 咲希
ホッケー部
米沢四中出身

津田塾大学文学部英文学科

苦しかったセンター試験後、私を支えてくれたのは、自分が過ごした日々でした。部活は最後までやりきってください。文武両道の厳しさを乗り越えた後には、必ず得るものがあります。頑張る仲間の姿は、とても刺激になりました。

私は部活引退までは完全に部活動中心の生活でした。部活動をしている時の家庭学習はというと、予習と課題で手一杯だった記憶があります。しかし、部活動を最後まで続けたことは大きな自信になったし、体力、気力を養えたことは受験生活にもプラスに働きました。また、本番の受験は一発勝負、その瞬間にかける集中力も部活動で培えました。



安部 健太
ソフトテニス部
米沢一中出身

東北大学経済学部

国公立132名現役合格※

※延べ人数

主要大学の合格人数

東京大学	2	新潟大学	12
京都大学	2	福島大学	7
一橋大学	1	宇都宮大学	6
東京芸術大学	1	千葉大学	5
東北大学	22	早稲田大学	7
山形大学	31	慶應義塾大学	5
山形県立保健医療大学	7	青山学院大学	6

(平成21年3月現在、過年度卒を含む)



センター試験激励会にて後輩応援団からの激励